

令和8年2月3日

2025 第459号

文責 教頭 釜屋雄一

ぜひとも、学校
ホームページを
ご覧ください⇒



地域回覧用



小原中部小 学校だより



2/2 5・6年 体育 — 跳び箱「抱え込み跳び」の学習 —

自分に合った挑戦で高まる意欲

5・6年生の体育では、跳び箱運動「抱え込み跳び」に取り組んでいます。今回は、4段・5段・6段の3台を用意し、自分に合った高さを選んで練習できるようにしました。両手の間に膝をしっかりと抱え込んで通す感覚をつかむため、跳び箱を横向きに置いた練習も取り入れ、横方向・縦方向のどちらからでも挑戦できるよう工夫しています。

笛の合図で、それぞれが自分のペースで練習をスタート。子どもたちは、跳ぶ向きを変えたり、段の高さを調整したりしながら、意欲的に技の習得に励んでいました。仲間同士でアドバイスを送り合う姿も見られ、学び合いが自然と生まれていました。

最後には、タブレットで一人一人の跳ぶ姿を撮影し合い、自分の動きを動画で振り返りました。自分の動きを客観的に見ることで、次回の練習に生かしたいポイントがより明確になります。子どもたちの表情には、「もっと上手になりたい」という前向きな気持ちがあふれていました。



2/2 2年 生活科 — お店のひみつが知りたいな —

行けなくても学べる工夫いっぱい

2年生の生活科では、本来予定していた交流館やお店の見学が、先週の学年閉鎖により実施できませんでした。そこで、教師が事前にお店の方へ取材を行い、その情報をもとに、子どもたちが「質問する」形で学習を進めました。

子どもたちは、自分で考えてきた質問をていねいな言葉で伝え、教師から返ってきた回答を一生懸命メモにまとめていました。事前に練習していた「質問の仕方」も生かされ、相手に伝わる話し方を意識して取り組む姿が印象的でした。

「何種類のお豆腐がありますか」「大豆の種類は何ですか」「どんな卵を売っているのですか」等、子どもたちの興味から生まれた質問が次々と飛び出し、学びへの意欲がにじみ出ていました。実際に見学に行けなくても、工夫次第で豊かな学びができることを実感できる時間となりました。

